

## 「(仮称)みやぎの将来ビジョン」の策定について

平成 18 年 6 月 宮城県

### 1 策定の背景

本県では平成 12 年 3 月に、県政の中長期的な課題と今後の取組を示す「宮城県総合計画 - 新世紀豊かさ実感みやぎ -」を策定し、政策評価指標を用いた行政評価システム(PDS サイクル)の運用や、3 か年を単位とする実施計画の策定により、行政課題や県民ニーズへの対応に取り組んでまいりました。

しかし、国勢調査(平成 17 年)において初めて本県の人口が減少に転ずるなど、人口減少社会がいよいよ現実的なものとなってきています。また、経済停滞や財政状況の悪化、地方分権や市町村合併の進展など、地方行政を取り巻く環境は総合計画策定当時とは大きく変わってきています。

### 2 策定の趣旨

このような時代潮流に的確に対応していくためには、安定した経済基盤を確立し、全ての県民が希望を持ち続けられるような地域づくりを進める必要があります。

このため、平成 18 年度においては、激動する内外の情勢変化と地域の課題を的確に把握した上で、転機を迎えた社会における将来のみやぎのあるべき姿や目標を県民と共有し、その実現に向けて県が優先して取り組むべき施策を明らかにする「(仮称)みやぎの将来ビジョン」を策定することといたしました。

### 3 将来ビジョンの計画期間・目標年次

平成 19 年度(2007 年度)を初年度として、10 年後の平成 28 年(2016 年)を目標年次とします。

### 4 将来ビジョンの内容

将来ビジョンでは、向こう 10 年間程度を見据え、

**県政運営にあたる基本理念**

**県として優先して重点的に取り組むべき課題と目指す姿**

**その実現に向けた県の取組の基本的方向性**

を示します。

〔これに合わせ、将来ビジョンを踏まえて、短期間(3 年あるいは 4 年)の県としての主要施策・事業とその達成水準を示す実施計画を別途策定します。〕

### 5 将来ビジョンの策定体制等

- (1) 将来ビジョンは、宮城県総合計画審議会に諮問し、専門的・総合的な立場から審議していただきます。
- (2) 県民の視点による英知を結集するため、一般県民を公募して「みやぎの将来ビジョン県民会議」を開催(5~7 月)し、幅広い意見の収集に努め、ビジョンへの反映を図ります。
- (3) このほか、タウンミーティングやパブリックコメント募集などにより、市町村や各種団体を含めた県内各界各層の意見の聴取・反映に努めます。

### 6 将来ビジョンの策定期間

策定期間は、平成 19 年 3 月までの予定です(平成 19 年 2 月の県議会定例会に議案として提出予定)。

「(仮称)みやぎの将来ビジョン」策定スケジュール

平成18年6月 宮城県

